

心に残る文化財子ども塾 学習指導案

日時 平成29年6月8日(木) 2, 3, 4時間目

対象 大田市立池田小学校5, 6年生10名

指導 池田小学校5, 6年担任1名

島根県世界遺産室職員2名

大田市教育部社会教育課職員1名

- 1, 主題名 (第1部) 土器や遺跡が伝えている先人の生活を考えよう
(第2部) 奈良の大仏の実際の大きさを見てみよう

2, ねらい

○島根県の遺跡や出土物について学習することを通して、遺跡が伝えるふるさとの姿や先人の知恵を感じることができるようにする。

○奈良の大仏の実際の大きさを、体育館にパネルを設置することで体感するとともに、大仏づくりに込められた思いや願いを考える

3, 展開

時間	学習活動	指導者の支援	備考・準備等
9:45	1, オリエンテーションおよび講師紹介	・見通しを持って学習できるように、学習の流れと講師の紹介をする。	島根県全図 遺跡写真 ・三瓶埋没林 ・加茂岩倉遺跡
9:50	2, 遺跡や古墳とはどういうものかを知る。	・工事や造成で発見されることを伝える。 ・三瓶埋没林遺跡や加茂岩倉遺跡などを例に、遺跡や古墳が太古の歴史を今に伝えていることを理解できるようにする。 ・出雲地方特有の古墳の形や、大量に出土した銅剣・銅鐸の存在から、出雲地方に大きな「くに」が存在したことを伝える。	・荒神谷遺跡 ・石見銀山遺跡 歴史年表 古墳の分布図

10:00	3, 島根県に残る遺跡やそこから出た出土物を知り、古代のふるさとや人々の生活について考える。 ・土器を見たり、触ったりする。 ・作り方や使い方を知る。	・土器は当時の生活を伝える、一出土物であることを伝える。 ・土器づくりの方法について知るだけでなく、製作を通して古代人の苦労や生活の知恵、土器の有用性について考えることができるようにする。	土器
10:35	【休憩】		・「奈良の大仏」の実物大パネル
10:55	奈良時代の概要を知る。		・写真パネル
11:00	大仏の大きさを予想する。		
11:05	「奈良の大仏」について、その巨大さを体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。		ホワイトボードで説明する。
11:50	【休憩】		
12:00	大仏建立にかかった日数や延べ人員、現在の金額について知る。	現在の技術でも、相当な労力と費用がかかること、当時はこれを人力で行っていたことを知る。	
12:10	大仏建立にこめられた、人々の思いや願いを考える。	指導者の力や、当時の人々の自然への畏敬の念について気づくことができるようにする。	
12:20	感想発表 記念撮影		

